

一個の石膏製胸像が眼につく、よく観ると、カール・リッターの肖像である、何處に參つても、リッターの寫眞なり胸像なりが飾られて居る、流石は地理學の始祖、かくも獨逸地學者の崇敬を受けて居るものかと愉快であつた。尙御一族の寫眞などもかゝげられ、又室の一隅には日本製の刺繡の偏額が硝子張にして保存されて居た。餘程古びては居るが確に富士に帆船の景である。早く日本から來た留學生どもの寄贈されたものであらう。夫から書齋の北の室を案内される、細長い室で此處も書物を以て充滿されて居る、教授は之に付ても草々と説明を下した、歐米人

は總じて書物を裝飾に供する風がある、ごこの家を觀ても多少とも藏書のない家はないが、専門の書物のみでかくも蒐集されて居るのを見ては流石に其熱心さに感服せざるを得なかつた、教授の餘りの御熱誠に思はず長居した、再三御禮を述べて歸る、別にのぞんで記念の署名を願ふと、喜んでペンを走らせ右の如く記された。薄雪のゲツチンゲン市内をドームからハウプトストラッセと、再大學附屬圖書館の前を通つて宿に歸る、尙見物すべきケ所も多からうが、此の目出度老大家に接したのを何よりの土産として一路伯林に歸ることにした。

## 濟州島火山岩中の斑晶 (二)

原 口 九 萬

前々(十一月)號に於て漢拏山頂より鑄出したる玄武岩の斑晶の物理學的性質を杜撰乍ら記述し

たが、其等の化學性質を述べることにする。

(一) 漢拏山玄武岩中の輝石

SiO <sub>2</sub>	49.63
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	14.59
Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	1.14
FeO	6.17
MgO	6.37
CaO	18.48
Na <sub>2</sub> O	0.57
K <sub>2</sub> O	0.58
TiO <sub>2</sub>	1.08
MnO	0.21
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	0.18
SO <sub>3</sub>	0.12
H <sub>2</sub> O	0.88
Total	100.00

此分析表より見れば、是迄記載された輝石に比しアルミナの分量が十四%に達し、マグネシヤが六%を有し其量が半減して居る事は特に注意を惹く點である。磁鐵鑛を四%不純物として藏し之を除去すれば次の如くなる。

	wt. %
SiO <sub>2</sub>	47.64
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	14.21
Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	3.84
FeO	7.19
CaO	17.73
MgO	6.12
Na <sub>2</sub> O	0.55
K <sub>2</sub> O	0.56
MnO	0.20
TiO <sub>2</sub>	1.05
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	0.17
SO <sub>3</sub>	0.11
H <sub>2</sub> O	0.42
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	nil
ZrO	nil
SrO	nil
Total	99.79

	wt. %
SiO <sub>2</sub>	54.42
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	28.13
Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.11
MgO	0.31
CaO	11.15
Na <sub>2</sub> O	4.75
K <sub>2</sub> O	1.04
H <sub>2</sub> O(+)	0.26
(-)	0.08
Total	100.22

(昭和三年十一月十日稿完)

	wt. %
SiO <sub>2</sub>	51.50
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	30.75
Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.59
MgO	Trace
CaO	13.15
Na <sub>2</sub> O	3.52
K <sub>2</sub> O	0.24
H <sub>2</sub> O	0.31
Total	100.06
Or	: 1.51%
Ab	: 30.84%
An	: 67.65%

(イ) 漢拏山頂玄武岩中の拉長石  
(ニ) 斜長石